



CARPRIME

Powered by CarMe

MEDIA GUIDE

ver.2021年10-12月

株式会社ファブリカコミュニケーションズ

Section01

カーミー CarMe) について

月間800万PVを誇る クルマ情報メディア

『クルマ情報を気軽に読みやすく』をコンセプトに、既存の専門メディアとは異なるアプローチで編集/発信をしています。

購入を検討しているユーザーに向けて、様々な切り口で徹底的に解説することを重視しています。

また、中古車検索や買取、自動車保険の比較見積もりといったカーライフに関するポータルサイト機能もあるため、クルマに関する経済行動に意欲的なユーザーが多くいることが特徴です。



月間PV数	月間UU数	平均滞在時間
約8,000,000PV	約4,200,000PV	2分01秒*

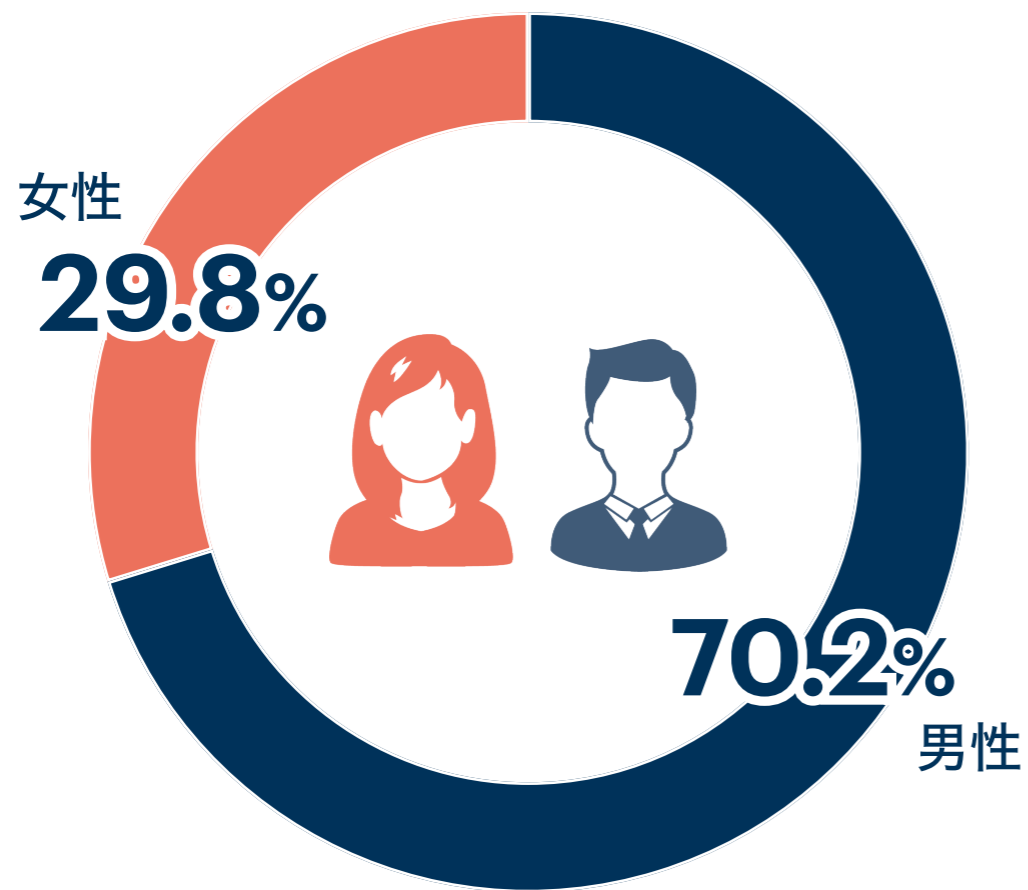
* 記事ページのみ

提携媒体

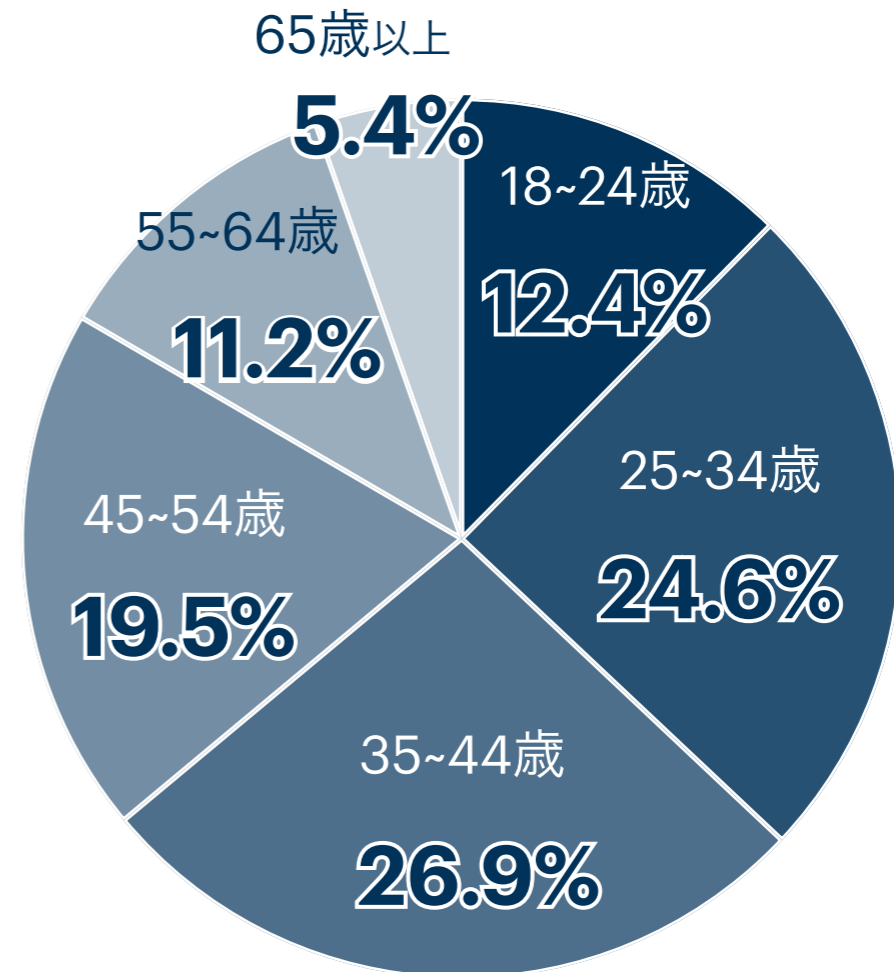


各数値はGoogle Analyticにて計測 (期間: 2021/07/01 - 2021/07/31)

- 性別 -



- 年齢層 -



Google Analyticにて計測 (期間：2021/07/01 - 2021/09/30)

CarMeは全てのカーライフ活動においてユーザーとの連続的な接点を持っています。そのため、情報メディアにありがちなアクションが起こりづらいということではなく、潜在層から顕在層まで幅広く情報を届けることが可能です。

CarMeのユーザーとの接点イメージ

車を楽しむ

情報収集

車を探す

比較・検討

問合せ



- エンタメ記事
- 試乗記事
- カスタム記事
- YouTube動画
- 記事配信ネットワーク

A

- 車種/保険の口コミ記事
- 10の切り口の徹底解説記事
- 圧倒的な検索結果上位表示

B

自社のポータルサイト



- CarMe中古車
- CarMe自動車保険
- CarMe車買取

- 自社サービス
- 提携企業サービス

トリビアや疑問系に関する記事

エンタメ軸によるトリビアや疑問系に関する記事は多くのライトユーザーに読まれています。

エンタメの本質は、興味のない人にいかに興味を持ってもらえるか、嫌いなものを受け入れてもらえるかだとCarMeは考えています。

そのため、トリビアや疑問系をテーマの切り口に用いて、クルマに興味のない人にリーチし、コンテンツ消費をしていただくことができます。

その結果、次回からのクルマ情報に接触しやすい状態を実現しています。

トリビア系記事



後ろにバトカー！速度取締りはすぐにブレーキを踏めばセーフ？

高速道路や幹線道路などで日常的に行われている、バトカーによる速度取り締まり。

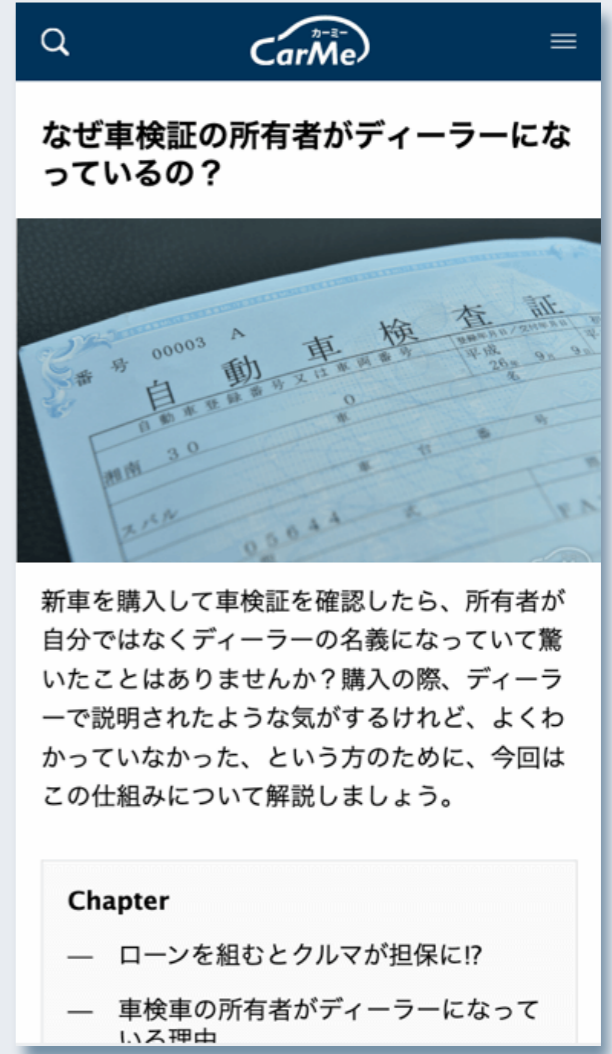
速度違反のクルマを追いかけて速度を測るという方法により行われていますが、追尾されていることに気付いたとき、すぐに速度を落とせば検挙されることはないのでしょうか。

そこで今回は、速度取り締まりの方法から検挙に至る流れまで、詳しく解説していきます。

Chapter

理由上では検挙されることはない

疑問系記事



なぜ車検証の所有者がディーラーになっているの？

新車を購入して車検証を確認したら、所有者が自分ではなくディーラーの名義になっていて驚いたことはありませんか？購入の際、ディーラーで説明されたような気がするけれど、よくわかっていなかった、という方のために、今回はこの仕組みについて解説しましょう。

Chapter

- ローン組むとクルマが担保に!?
- 車検車の所有者がディーラーになっている理由

	公開後24時間PV	滞在時間
トリビアや疑問系に関する記事	147,093PV	4分47秒

* 上記トリビア記事実績 (2021年7月18日記事公開から24時間の計測)

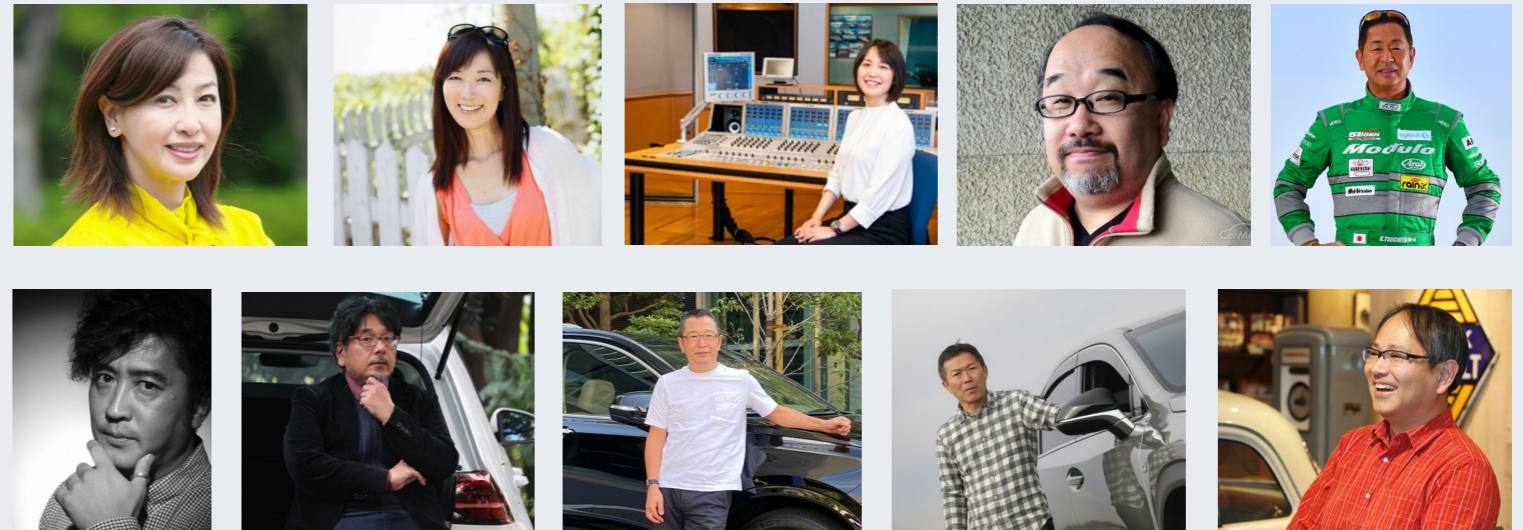
愛用品・おすすめ商品 紹介記事

専門家やインフルエンサーによる愛用品・おすすめ商品紹介記事。

商品・サービスの購入を検討しているユーザーの手助けになるコンテンツとしてリーチでき、ており実売に繋がっている記事になります。

ジャーナリストやレーサー、専門家の方々

*一部抜粋



YouTuberやインフルエンサーの方々

*一部抜粋



	滞在時間	EC誘導率	実購入率
愛用品・おすすめ商品 紹介記事	約 5分1秒	15.4%	8.7%

Google Analyticにて計測（期間：2021/09/01 - 2021/09/30）

車種徹底解説記事や商品おすすめ記事

ジャーナリストによる車種徹底解説記事や商品おすすめ記事は読み応えがあり、情報収集しているユーザーに届く配信構造を持っています。Google等で検索した際に1ページ目に表示されるようになっています。

また、一般ユーザーから収集した口コミ記事も同様で、検索結果が常に1～5位に表示されています。*

【プロが徹底解説】トヨタ 新型ハリアー(4代目)の内装・外装、荷室、装備、オプション、欠点を試乗レビュー



2020年6月、4代目となる新型ハリアーがトヨタ自動車から発売されました。ハリアーは様々な年齢層にウケていますが特に若い人にウケています。新型ハリアーでは、TNGA(GA-Kプラットフォーム)が採用され、走りも質感も進化しているとのこと。そんな新型ハリアーを今回は、ハリアーの内装・外装、荷室、装備、ボディカラー、オプション、欠点を徹底解説していきます。

文/写真・萩原文博

一般のドライバーに聞いた！トヨタハリアーの口コミ(評価・評判)まとめ



30代 女性のハリアー(DBA-ZSU60W)についての口コミ

千葉県銚子市 在住/既婚"両親・子"

5段階評価

- ・外装 : 5点
- ・内装 : 5点
- ・走行性能: 5点
- ・乗り心地: 5点

自動車のプロやカー用品店店員がおすすめする洗車グッズ・道具・用品30選！これでもう迷うことなし！



洗車は面倒な作業だが、愛車を長持ちさせるには必要なもの。普段気持ちよく乗るためにも、洗車や磨きは定期的に行っておこう。洗車や磨きを少しでも円滑に行う上で大切なのが、その専用グッズだ。今回は、便利で優れモノのおすすめ洗車&磨きグッズをご紹介します。

Chapter

実際の自動車保険加入者151名に聞いた！SBI損保の口コミ(評価・評判)まとめ【CFP®認定者のコメントあり】

50代 男性 / 埼玉県 / ¥18,000 / 5,000km~10,000km以下 / ホンダ・インスパイア / 既婚・配偶者あり

保険料について

【良い点】

価格比較サイトで補償内容同条件で比較すると、最安値か2番手位の結果となり、毎回継続契約をしている。ネットで簡単に申し込みもできて安いので助かっている。他社より10,000円以上安い事もある。

【気になる点】

今まで事故を起こして保険金の請求をしたことが無いが、仮に事故を起こして保険を利用した場合、次年度からどの程度保険金がアップするのか気になります。多少の事故なら自費で対応した方が良いのか悩みます。

[回答者のすべての口コミを見る](#)

50代 男性 / 愛知県 / ¥34,000 / 3,000km以下 / トヨタ・ヴィッツ / 既婚・配偶者あり

* 記事によって順位が異なる場合があります

Section02

カ ー プ ラ イ ム

CARPRIME について

Powered by CarMe

クルマの新しい魅力を発見するメディア

クルマの新しい魅力を発見するメディアとして『CARPRIME (カープライム)』を発足。

毎週、気になるクルマ、話題のクルマを取り上げ、

“クルマのある日常を楽しむ全ての人へ”

”知的好奇心を満たすチャンネル”

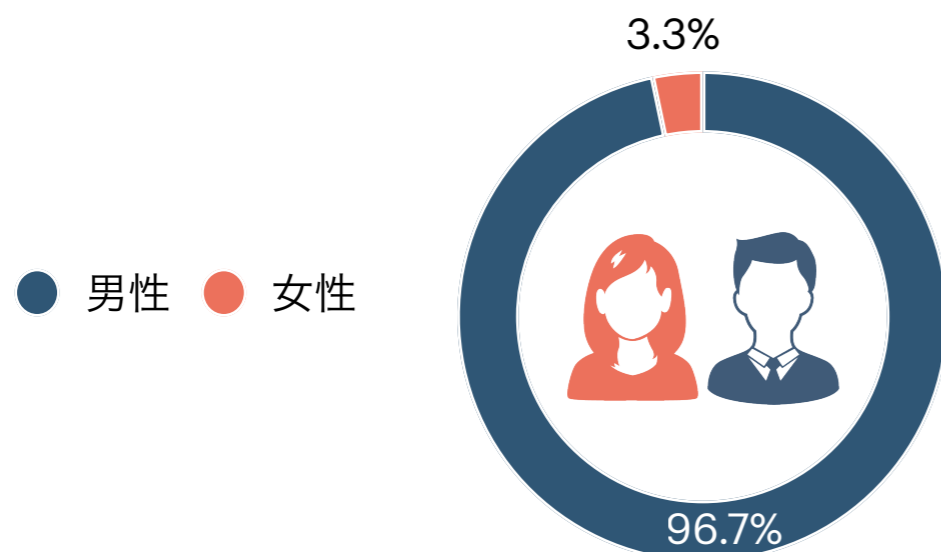
の2つを目指し、様々な企画を展開しています。



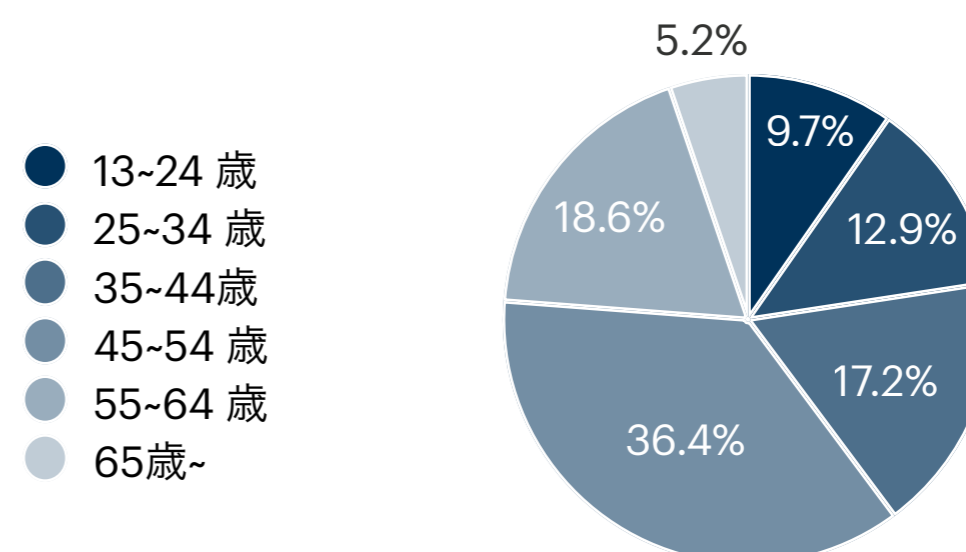
平均視聴時間	ユニーク視聴者数	リピーター	インプレッション
11分02秒	129.5万人	52.8万人	8,465千万回

YouTubeStudioにて計測（期間：2021/07/01 - 2021/07/31）

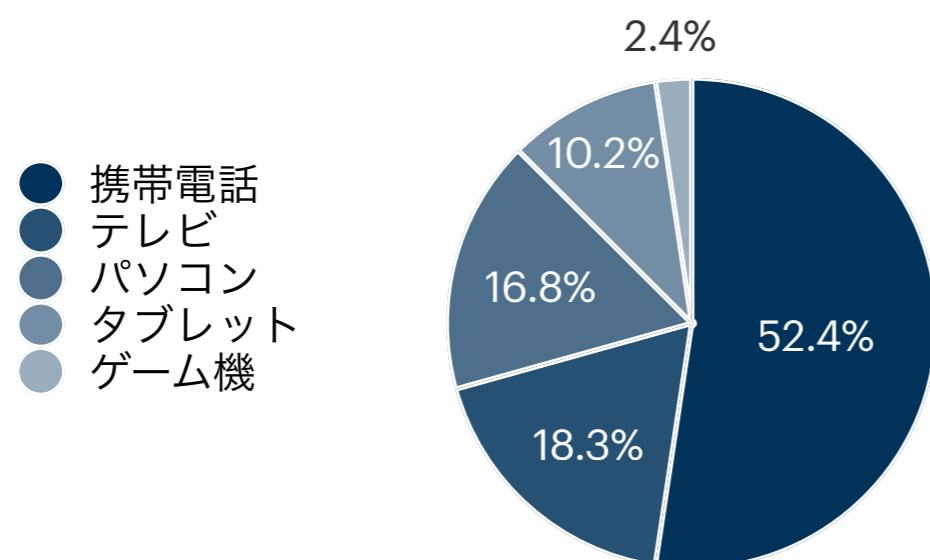
- 性別 -



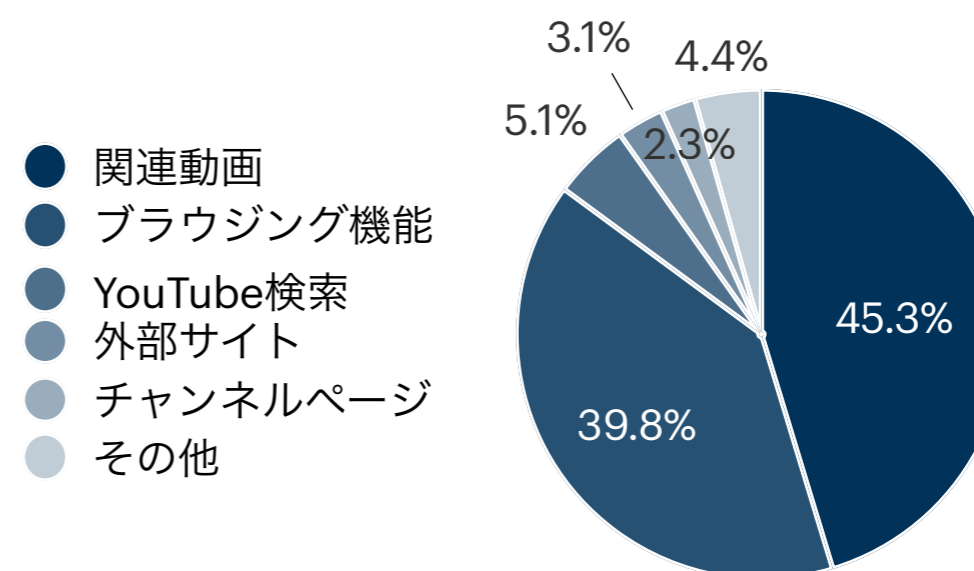
- 年齢層 -



- デバイス -



- トラフィックソース -

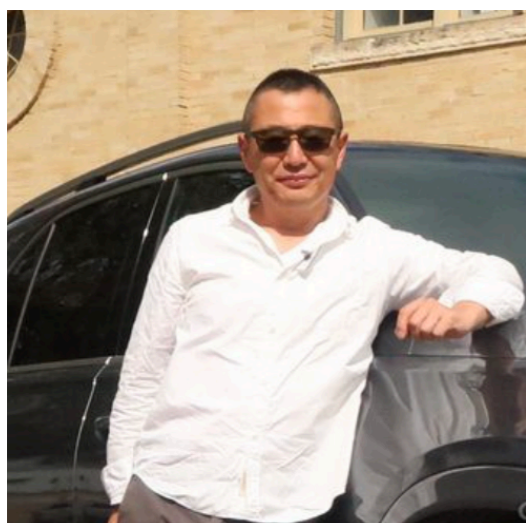


YouTubeStudioにて計測（期間：2021/07/01 - 2021/07/31）



伊藤 梓 Ito Azusa

山形県出身。グラフィックデザイナーを経て、2014年に伝統のある自動車雑誌の編集者へと転身。2018年に独立しフリーのライター&イラストレーターへ。2019年から約一年間、FM YOKOHAMA「THE MOTOR WEEKLY」のラジオパーソナリティを務めるなど、自動車の楽しさを広く伝えるため、多方面に活躍中。



大谷 達也 Otani Tatsuya

大学卒業後、電機メーカーの研究所にエンジニアとして勤務。1990年に自動車雑誌「CAR GRAPHIC」の編集部員へと転身。同誌副編集長に就任した後、2010年に退職し、フリーランスの自動車ライターとなる。現在はラグジュアリーカーを中心に軽自動車まで幅広く取材。先端技術やモータースポーツ関連の原稿執筆も数多く手がける。2019-2020 日本カー・オブ・ザ・イヤー選考員、日本自動車ジャーナリスト協会会員、日本モータースポーツ記者会会員。



土屋 圭市 Tsuchiya Keiichi

1956年生まれ。長野県出身。ストリートから世界レベルのレース参戦まで果たしたレーサー。レース中に行われる激しいドリフト走行が注目され、「ドリフト・キング」の異名が与えられ、以後ドリフトを世界中に広めた男として定着。レース戦績においても、1995年ル・マン24時間レースにはNSX-GT2にてクラス優勝を果たす。1999年には、トヨタTS020でル・マン24時間レースに挑み、日本人トリオでの最高位である総合2位獲得以後、JGTC(現スーパーGT)参戦、ARTAにおいてエグゼクティブアドバイザーを務めるなど活動。

旬な車をピックアップし、車両紹介やインプレッションを行う企画

コメントには「動画を見て購入したいと思った」や「動画を見て販売店にいき注文しちゃいました」等の声が届いています。



Cutting Edge メインMC 伊藤 梓



山形県出身。グラフィックデザイナーを経て、2014年に伝統のある自動車雑誌の編集者へと転身。

2018年に独立しフリーのライター&イラストレーターへ。

2019年から約一年間、FM YOKOHAMA「THE MOTOR WEEKLY」のラジオパーソナリティを務めるなど、自動車の楽しさを広く伝えるため、多方面に活躍中。

主にラグジュアリーなハイエンドモデルを紹介する企画

ブランドの歴史や思想がその車種にどのように体现されているかや、長年のインタビューを通じて得た一次情報を元にここでしか聞けないストーリーを展開しています。



EXCLUSIVE LOUNGE企画メインMC 大谷 達也

大学卒業後、電機メーカーの研究所にエンジニアとして勤務。

1990年に自動車雑誌「CAR GRAPHIC」の編集部員へと転身。同誌副編集長に就任した後、2010年に退職し、フリーランスの自動車ライターとなる。現在はラグジュアリーカーを中心に軽自動車まで幅広く取材。先端技術やモータースポーツ関連の原稿執筆も数多く手がける。2019-2020 日本カー・オブ・ザ・イヤー選考員、日本自動車ジャーナリスト協会会員、日本モータースポーツ記者会会員。

新旧モデルを比較し、その車種のDNAやそれぞれの魅力を語る企画

古き良き時代のモデルと最新モデルを並べ、土屋圭市氏が当時の車たちの事情や最新モデルの魅力を、モータージャーナリストをゲストに迎え語り尽くします。



VINTAGE TIMESメインMC 土屋 圭市

1956年生まれ。長野県出身。ストリートから世界レベルのレース参戦まで果たしたレーサー。レース中に行われる激しいドリフト走行が注目され、「ドリフト・キング」の異名が与えられ、以後ドリフトを世界中に広めた男として定着。レース戦績においても、1995年ル・マン24時間レースにはNSX-GT2にてクラス優勝を果たす。1999年には、トヨタTS020でル・マン24時間レースに挑み、日本人トリオでの最高位である総合2位獲得以後、JGTC(現スーパーGT)参戦、ARTAにおいてエグゼクティブアドバイザーを務めるなど活動。

土屋圭市氏がゲストにドリフトの楽しさや運転の楽しさを伝える企画

芸能人でYouTubeチャンネルを持っている方々とコラボ企画として展開しており、各芸能人の方々のチャンネルでも動画が公開されています。今後、芸能人以外の著名人とのコラボも複数予定しています。



ドリフト列伝メインMC 土屋圭市

1956年生まれ。長野県出身。ストリートから世界レベルのレース参戦まで果たしたレーサー。レース中に行われる激しいドリフト走行が注目され、「ドリフト・キング」の異名が与えられ、以後ドリフトを世界中に広めた男として定着。レース戦績においても、1995年ル・マン24時間レースにはNSX-GT2にてクラス優勝を果たす。1999年には、トヨタTS020でル・マン24時間レースに挑み、日本人トリオでの最高位である総合2位獲得以後、JGTC(現スーパーGT)参戦、ARTAにおいてエグゼクティブアドバイザーを務めるなど活動。

弊社お問合せ先

株式会社ファブリカコミュニケーションズ



東京都中央区築地2-12-10 築地MFビル26号館4F

TEL : 03-6226-1888

mail : carme-press@fabrica-com.co.jp